

# 熊本商工会議所 2022年経済予測アンケート 調査結果

## KEY WORD

- ★景気の現状… 前年と比べて「好転」が増加し、「悪化」は減少していることから、景気は回復傾向を示した。
- ★業況の見通し… 「好転」38.9%、「悪化」24.4%で、好転予測が14.5%上回った。
- ★円市場予測 … 「円安傾向」43.8%、「円高傾向」11.2%で円安傾向の予測が32.6%上回った。
- ★株式市場予測 … 「ほとんど変化はない」45.5%、「株高傾向」22.3%となり、現在の高値水準が続いていく見通しとなった。
- ★経営上の問題点 … 上位3項目は「材料費・仕入単価の上昇」43.4%、「需要やニーズの停滞・変化」40.1%、「人手不足」33.1%
- ★2019年と比べた2021年の売上 … 一昨年比87.0%となり、コロナ禍前の水準には回復していない結果となった。
- ★新型コロナウイルス感染症関連で、今後、国等に望む施策について。  
… 「税金・社会保険料の減免」54.1%、「売上減少分を補填するための給付金」36.0%、「雇用を維持するための助成金」29.3%、「融資返済猶予・期間の延長」28.5%など資金繰り関連に集中。
- ★新型コロナウイルス感染症が収束するのは、いつ頃だと考えますか。  
… 「2022年後半」38.0%、「2023年前半」18.6%

熊本商工会議所

2021年12月

＜本調査の問い合わせ＞

熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課  
TEL354-6688 FAX352-5202

# 熊本商工会議所

## 2022 年経済予測アンケート

### INDEX

1. 調査概要	1
2. 回答企業	2
3. 景気の現状	3
4. 業況の見通し	4
5. 円市場予測	12
6. 株式市場予測	13
7. 金利予測	14
8. 経営上の問題点	15
9. 経営上の重視点	16
10. 新型コロナウイルスの影響について	18

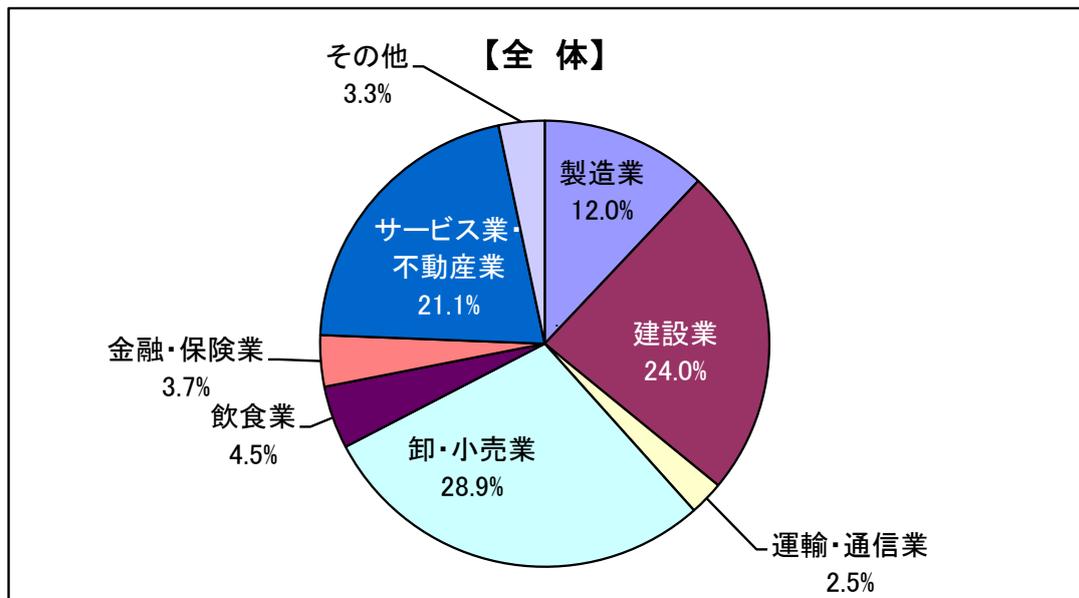
※ 巻末…「2022 年経済予測アンケート」調査用紙

# 調査概要

1. 調査期間 令和3年 11月 15日(月)～11月 22日(月)
2. 対象者 熊本商工会議所 役員並びに議員 99名  
熊本商工会議所経営動向調査モニター企業代表者 400名  
(経営動向調査モニター企業は、小規模企業であるため  
報告書においては小規模企業と表記する)
3. 配布数 499名
4. 調査方法 調査用紙配布:FAX・メール又は郵便送付  
調査票回収:FAXまたはWEBフォーム、メールによる回答
5. 回答者数 242名(有効回答率 48.5%)
6. 調査機関 熊本商工会議所

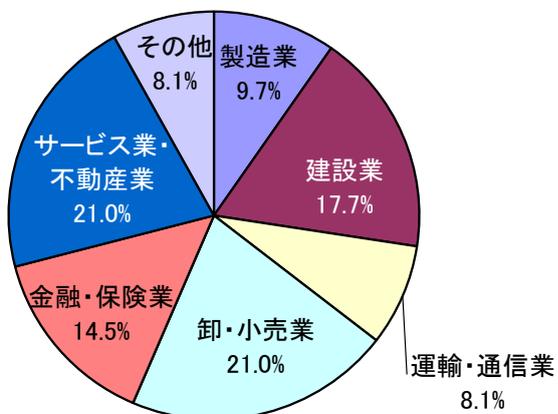
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

## 回答企業

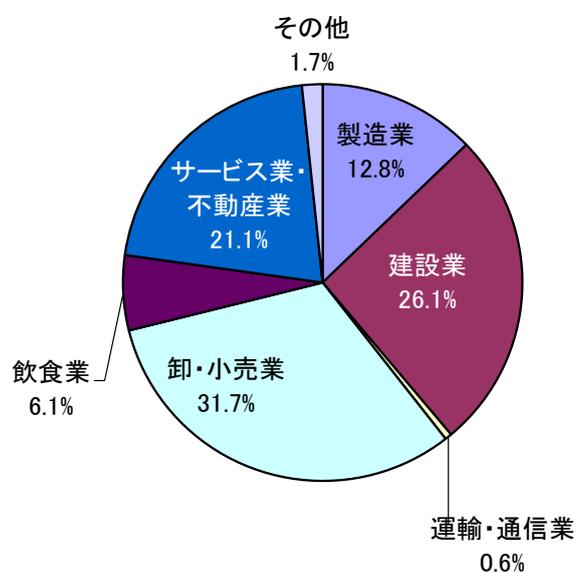


## 規模別の回答企業

### 【役員・議員】

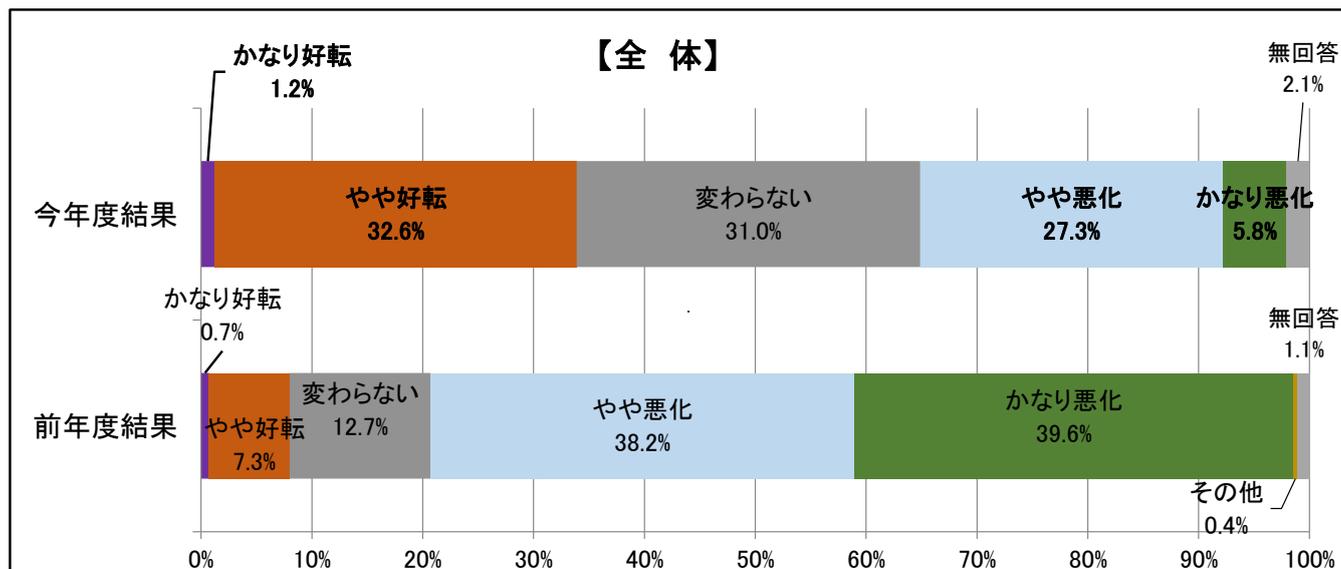


### 【小規模企業】



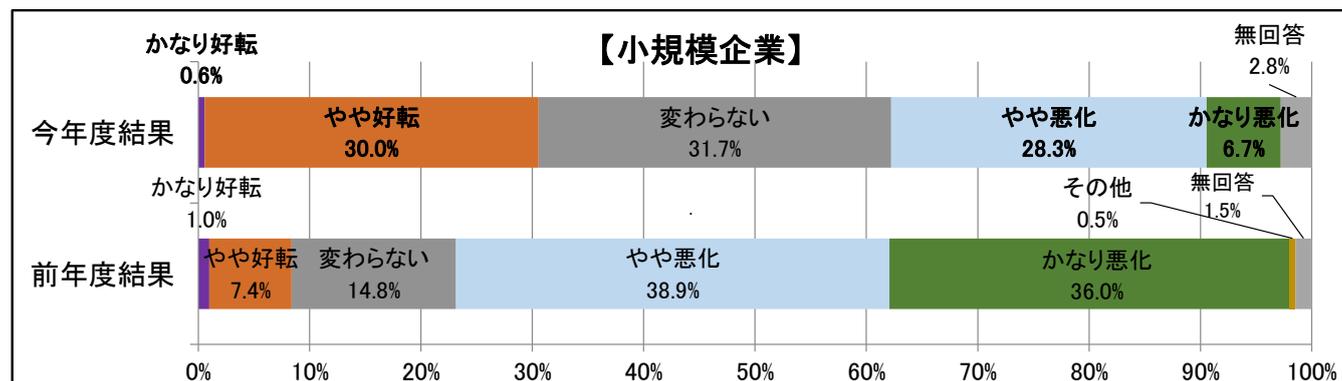
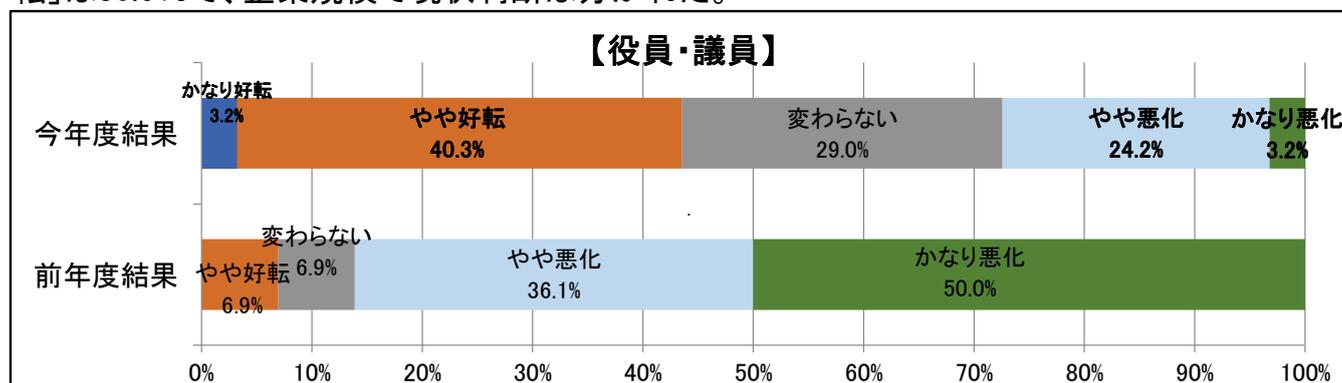
## 2021年11月 景気の現状

「好転」33.8%、「悪化」33.1%、「変わらない」31.0%で判断が分かれたが、前年に比べて「好転」が25.8%増加し、「悪化」は44.7%減少していることから、景気は回復傾向を示した。



## 2021年11月 規模別の景気の現状

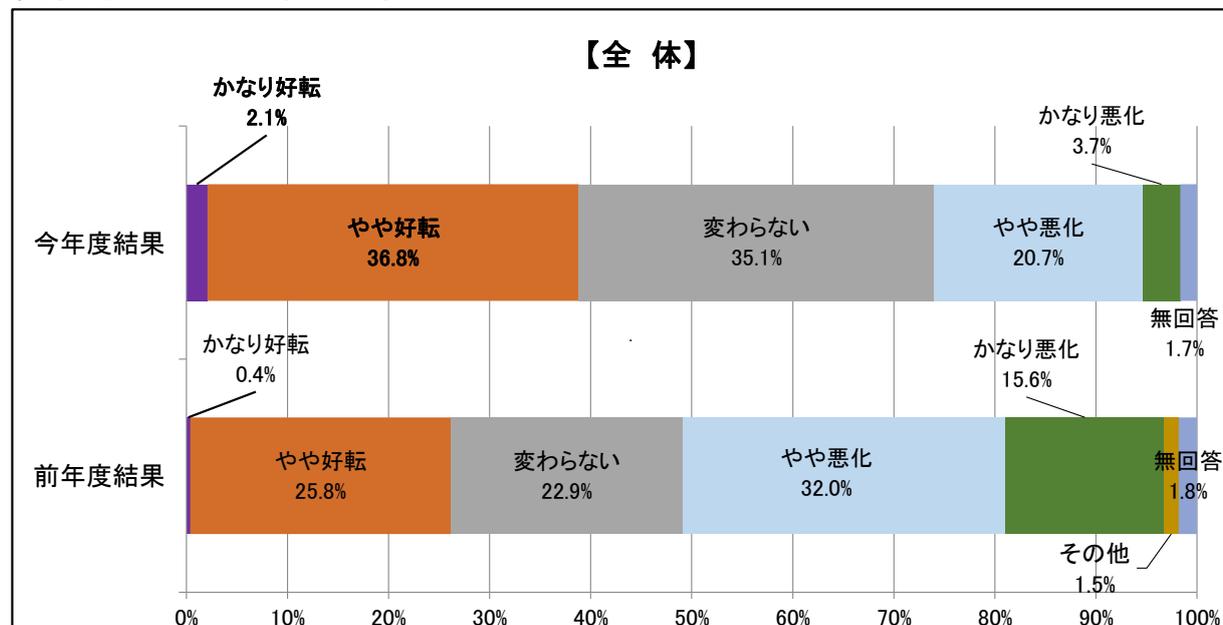
【役員・議員】は「好転」が43.5%で「悪化」は27.4%、【小規模企業】は「悪化」が35.0%で「好転」は30.6%で、企業規模で現状判断は分かれた。



## 2022年 業況の見通し

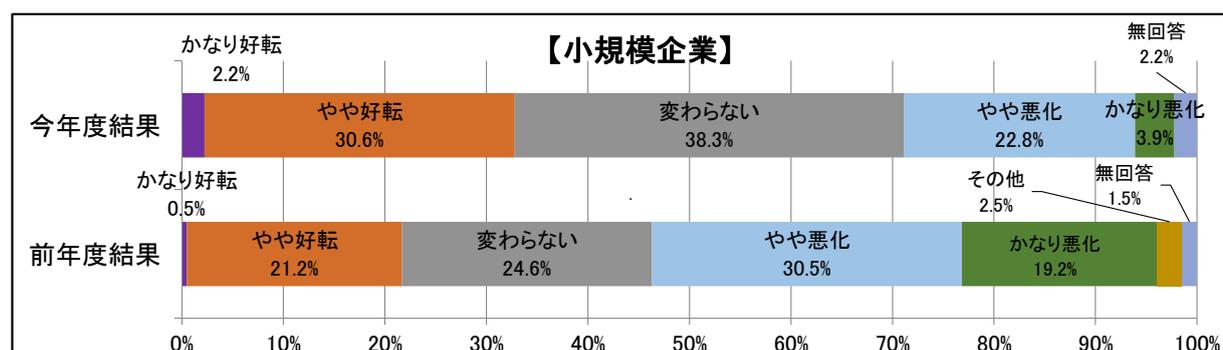
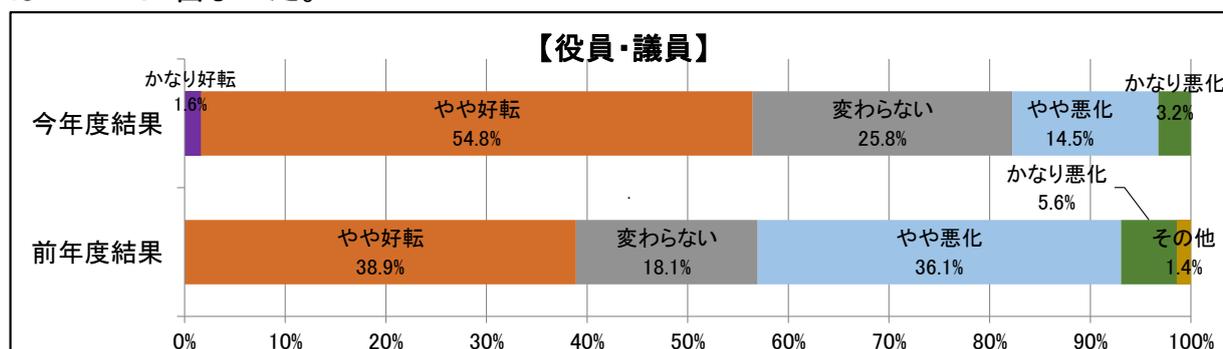
### 全業種

「好転」が38.9%（対前年比+12.7%）、「悪化」は24.4%（対前年比-23.2%）で、好転予測が14.5%上回った。



## 2022年 規模別の業況の見通し

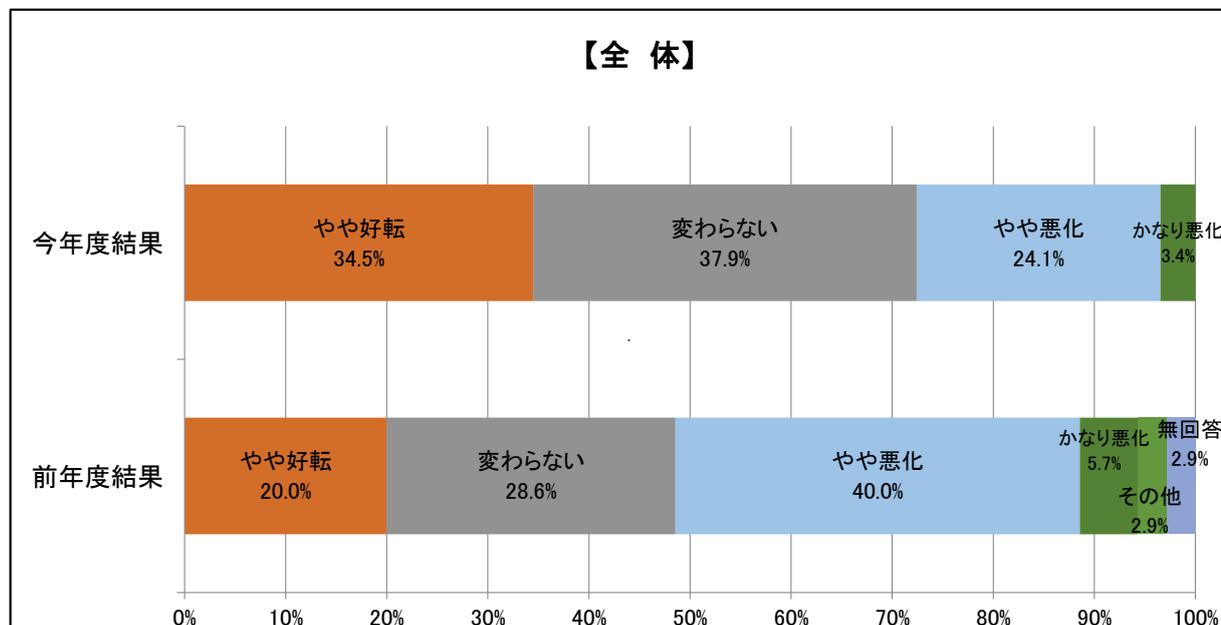
【役員・議員】は「好転」が56.4%と過半数を占めたものの、【小規模企業】では「好転」は32.8%に留まった。



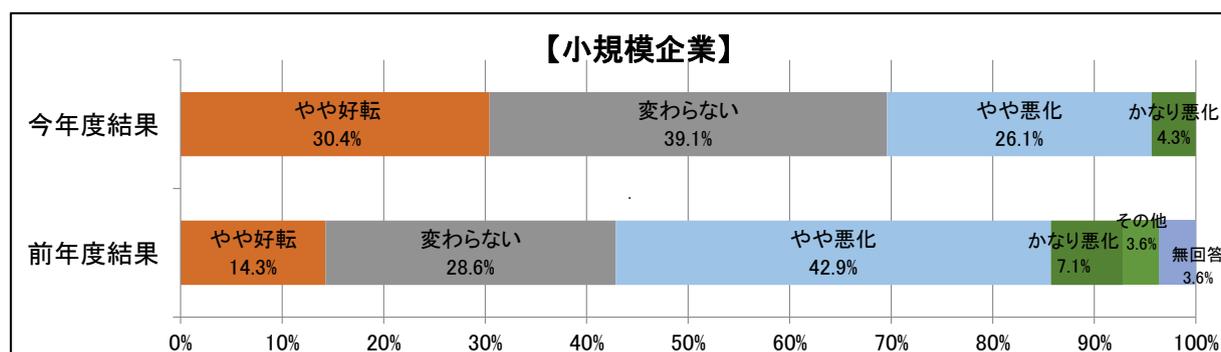
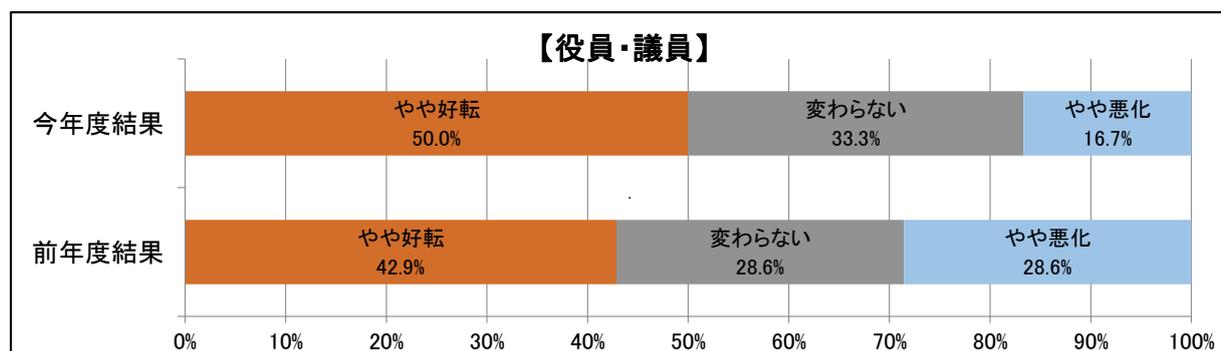
## 2022年 業況の見通し

### 製造業

「好転」が34.5%（対前年比+14.5%）、「悪化」は27.5%（対前年比-18.2%）で、好転予測が7.0%上回った。



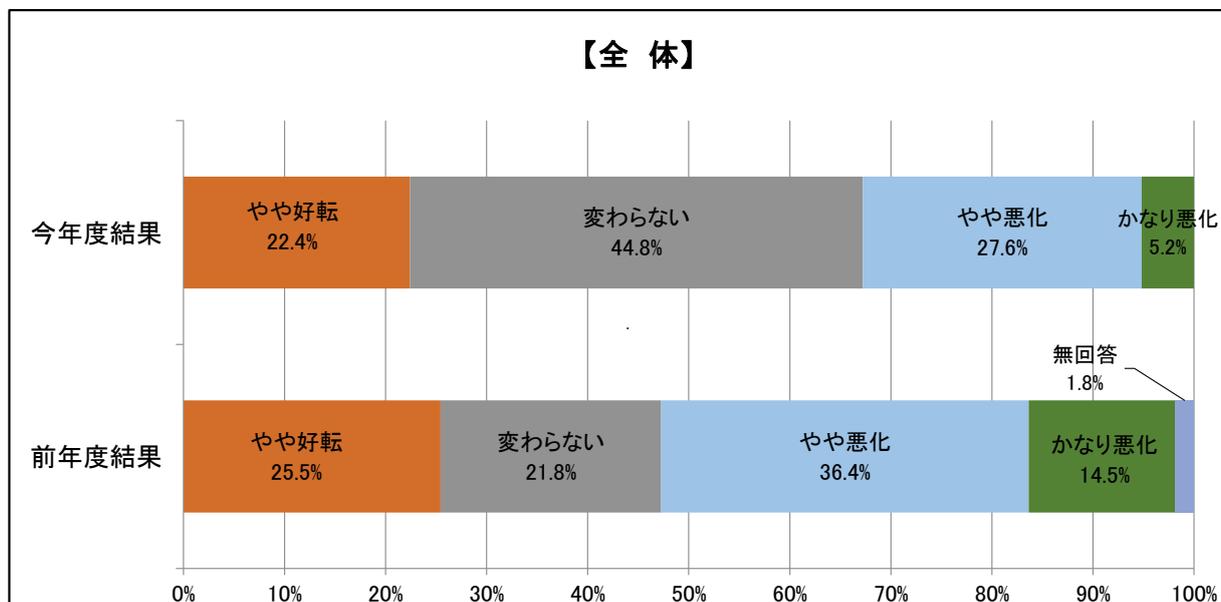
【役員・議員】は「好転」が50.0%と半数を占めたものの、【小規模企業】では「好転」、「悪化」ともに30.4%となった。



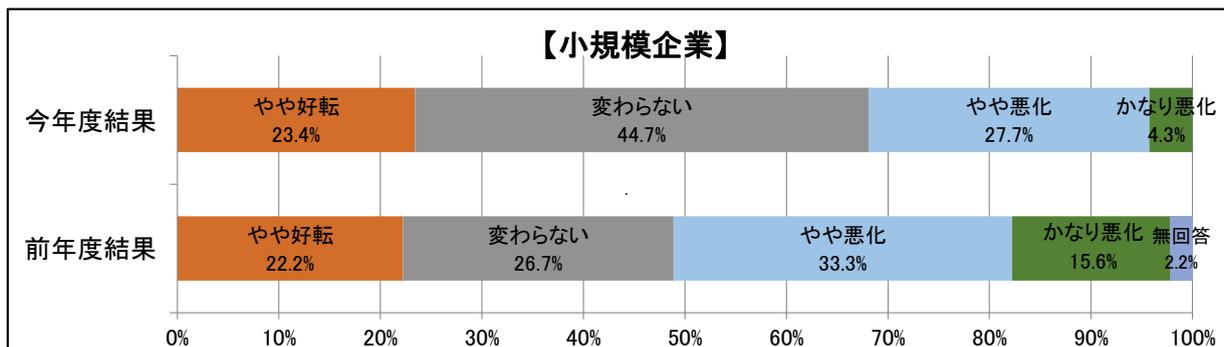
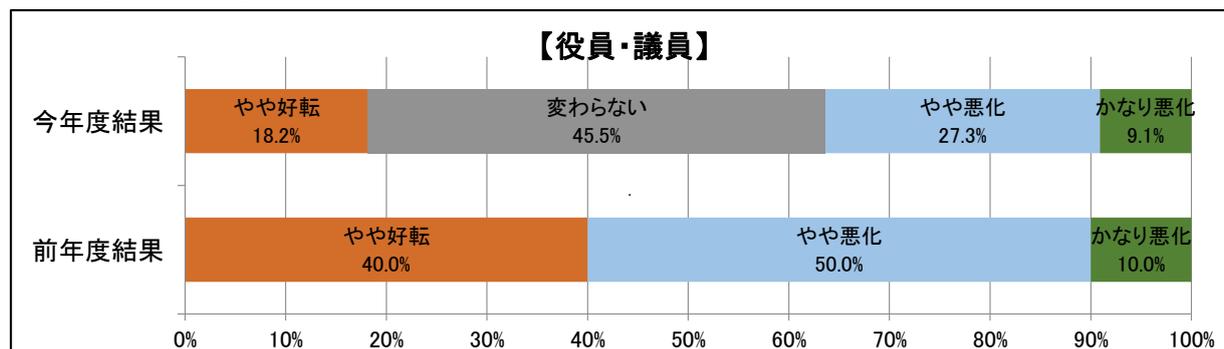
## 2022年 業況の見通し

### 建設業

「好転」が22.4%（対前年比-3.1%）、「悪化」は32.8%（対前年比-18.1%）で、全業種の中で唯一悪化予測が好転予測を上回った。



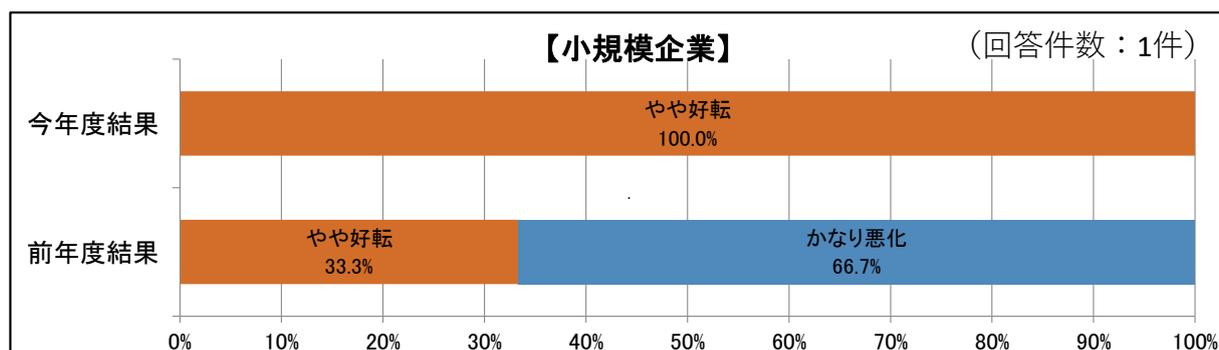
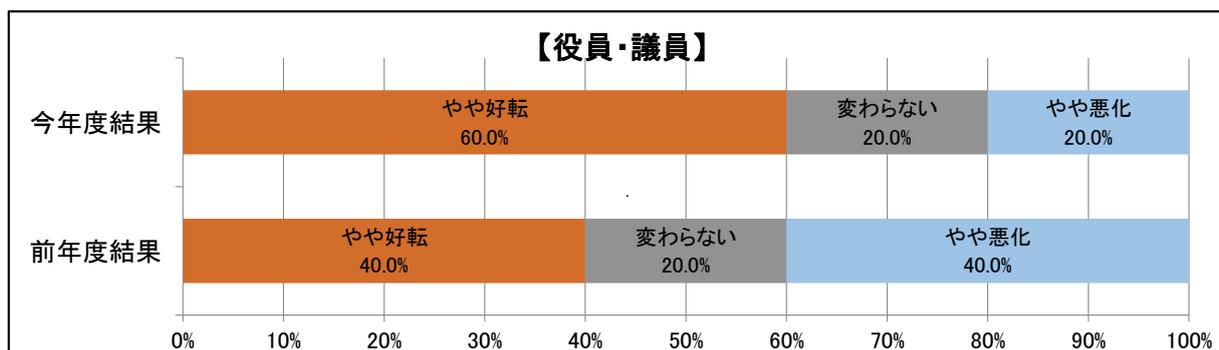
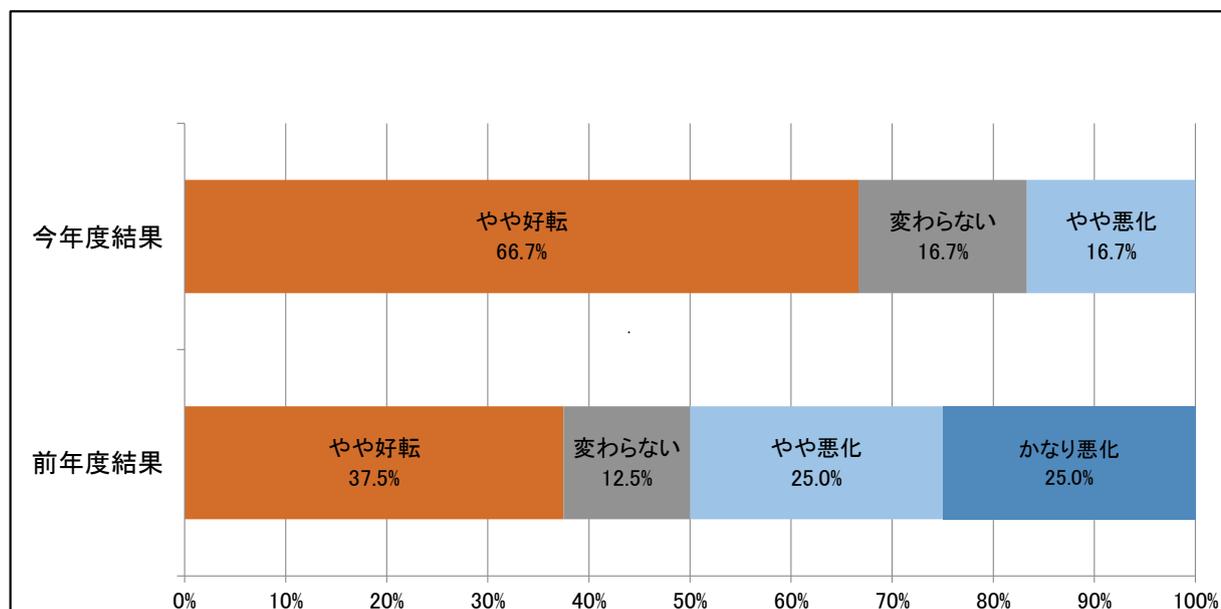
前年に比べ、「悪化」の割合は減少したものの、【役員・議員】、【小規模企業】ともに「悪化」が「好転」を上回った。



## 2022年 業況の見通し

### 運輸・通信業

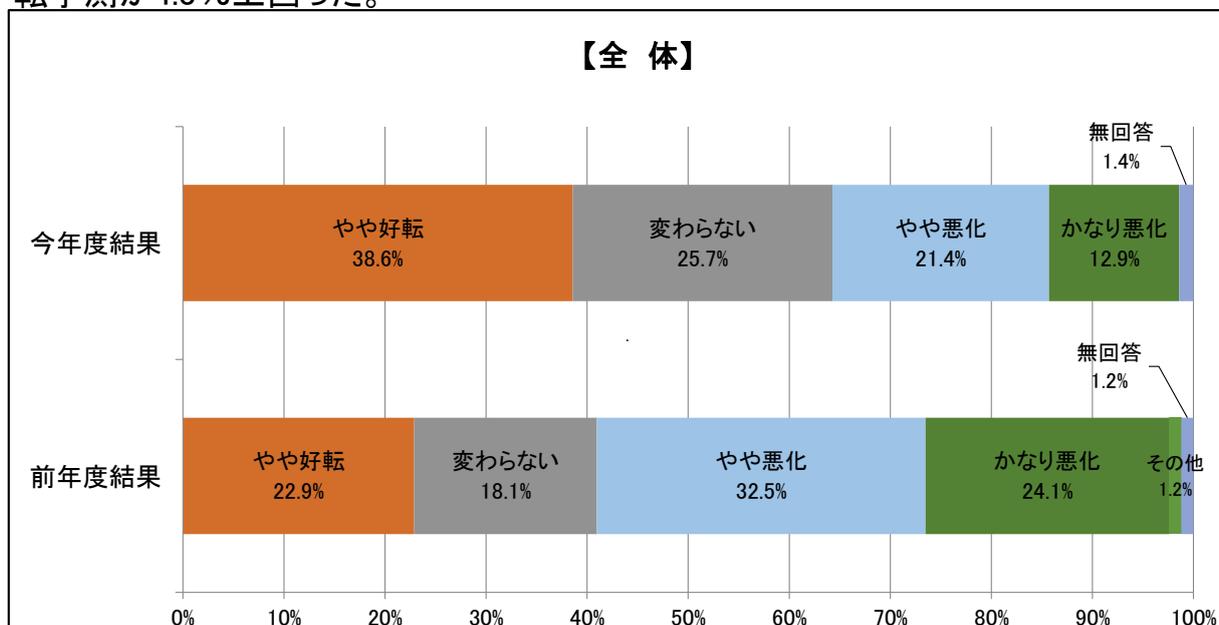
「好転」が66.7%（対前年比+29.2%）、「悪化」は16.7%（対前年比-33.3%）で、全業種の中で好転予測が最も高くなった。



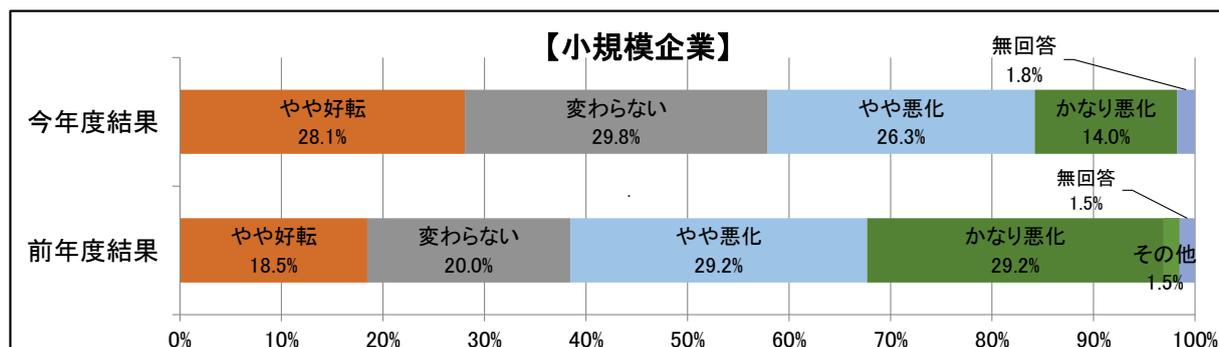
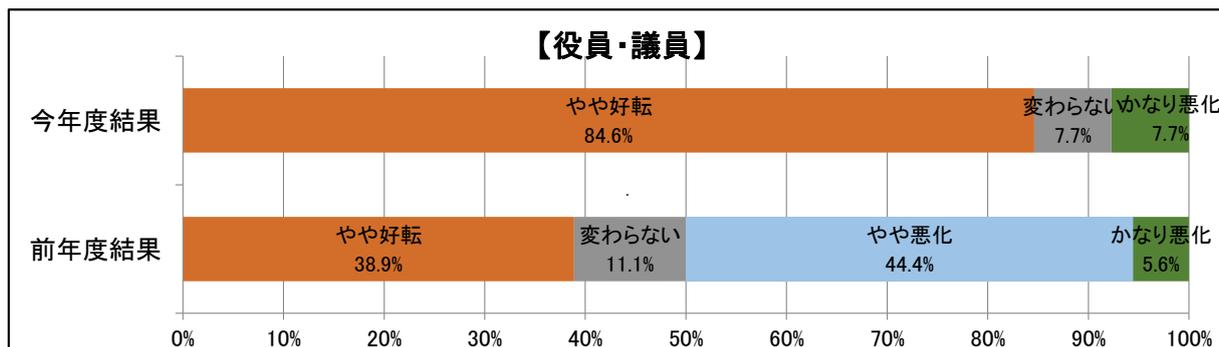
## 2022年 業況の見通し

### 卸売・小売業

「好転」が38.6%（対前年比+15.7%）、「悪化」は34.3%（対前年比-22.3%）で、好転予測が4.3%上回った。



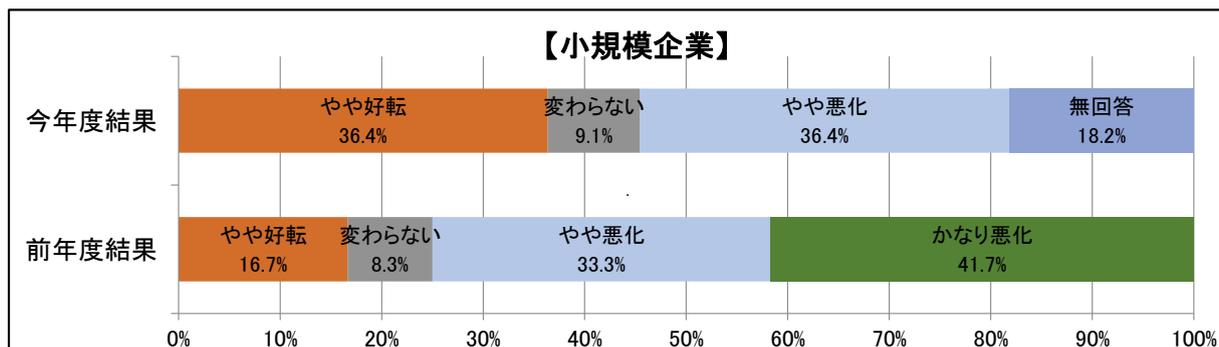
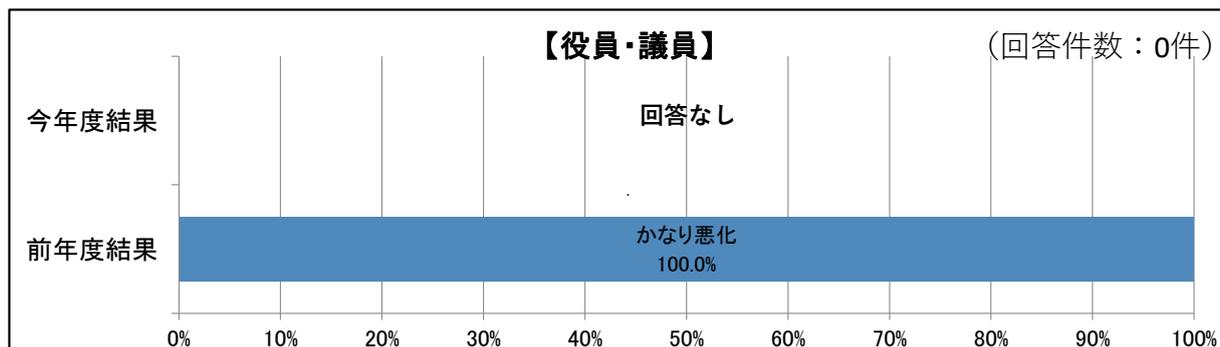
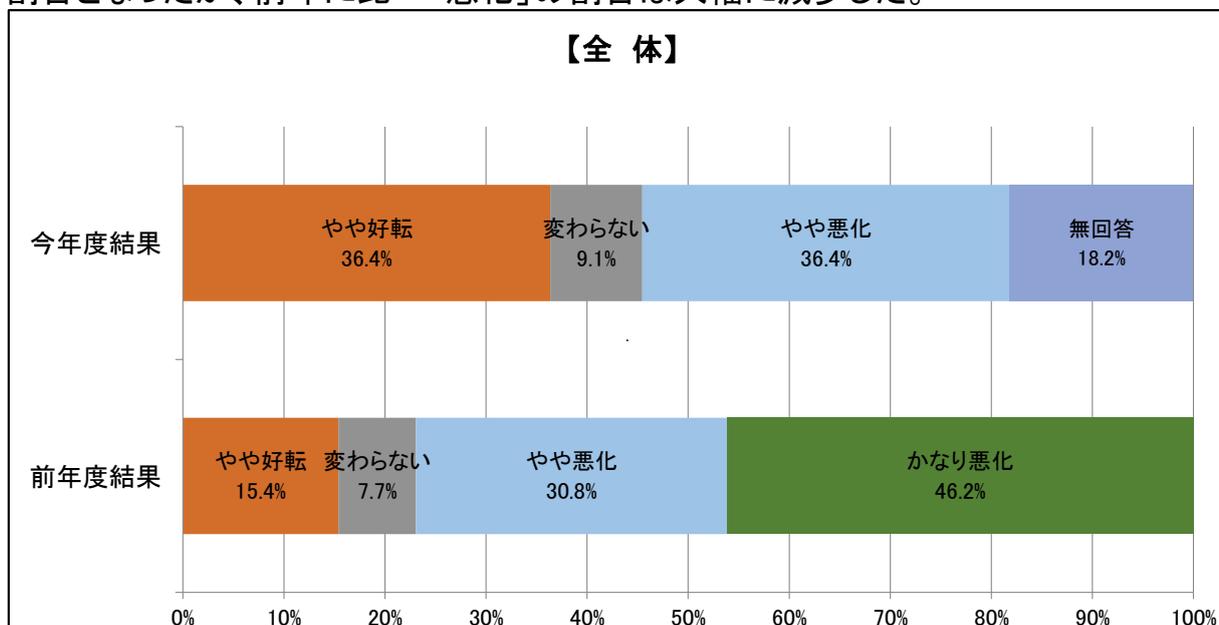
【役員・議員】は「好転」が84.6%と大半を占めたものの、【小規模企業】では「悪化」が40.3%で「好転」の28.1%を上回った。



## 2022年 業況の見通し

### 飲食業

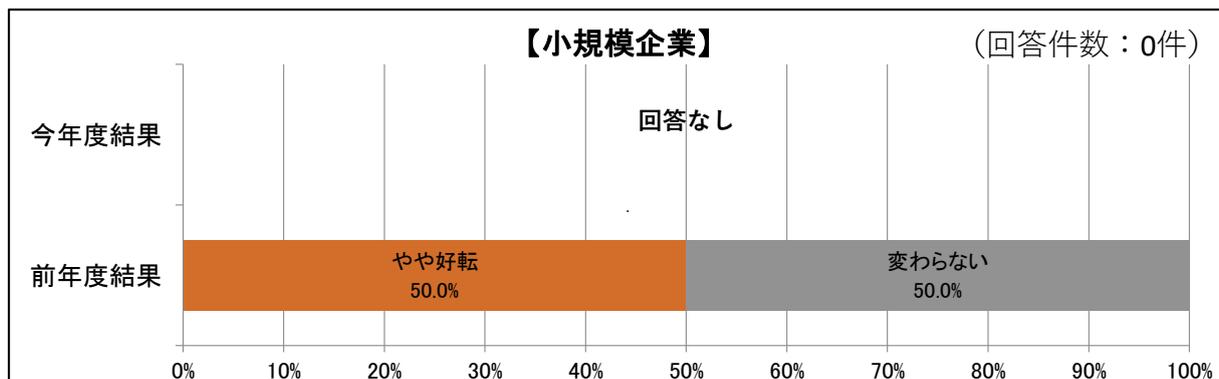
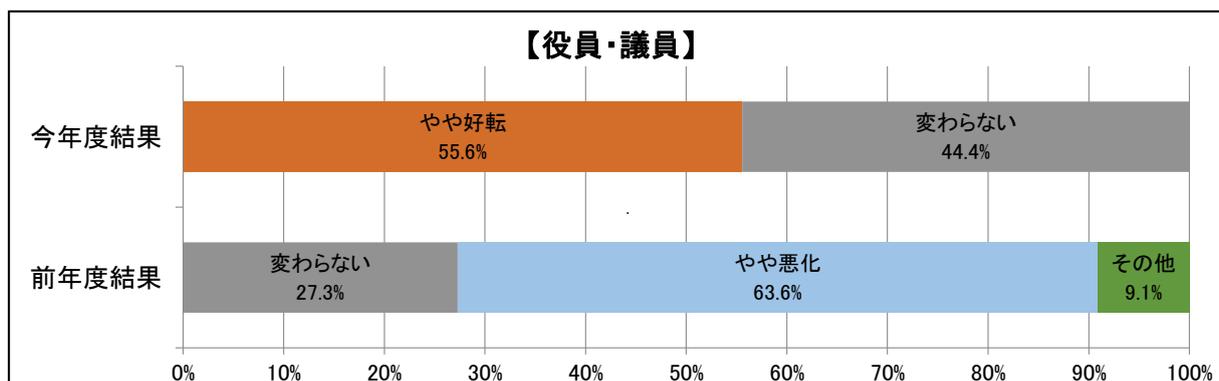
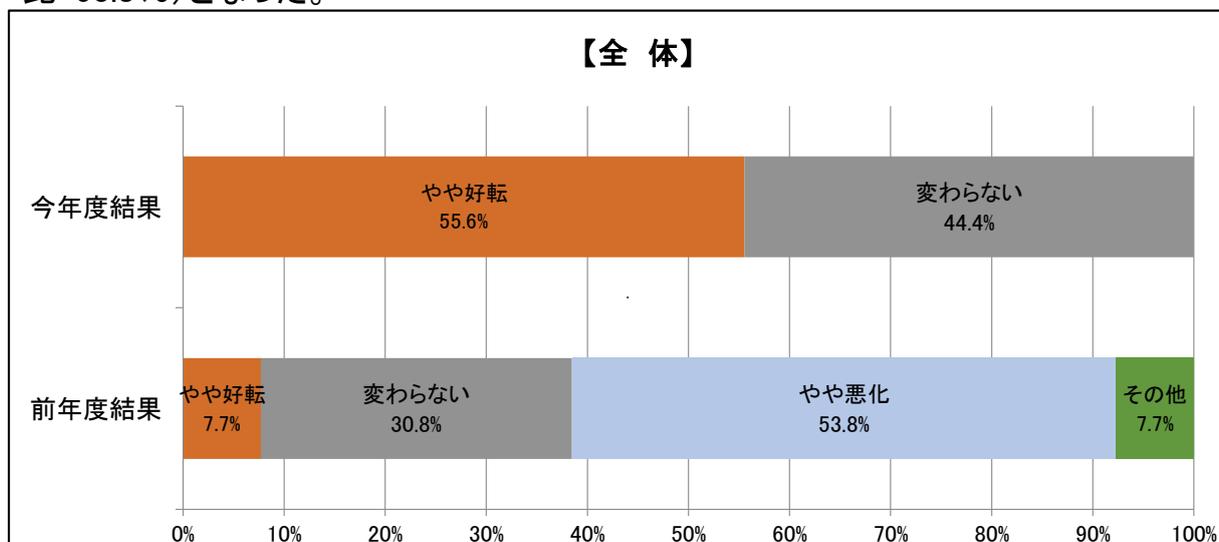
「好転」が36.4%（対前年比+21.0%）、「悪化」は36.4%（対前年比-40.6%）で同じ割合となったが、前年に比べ「悪化」の割合は大幅に減少した。



## 2022年 業況の見通し

### 金融・保険業

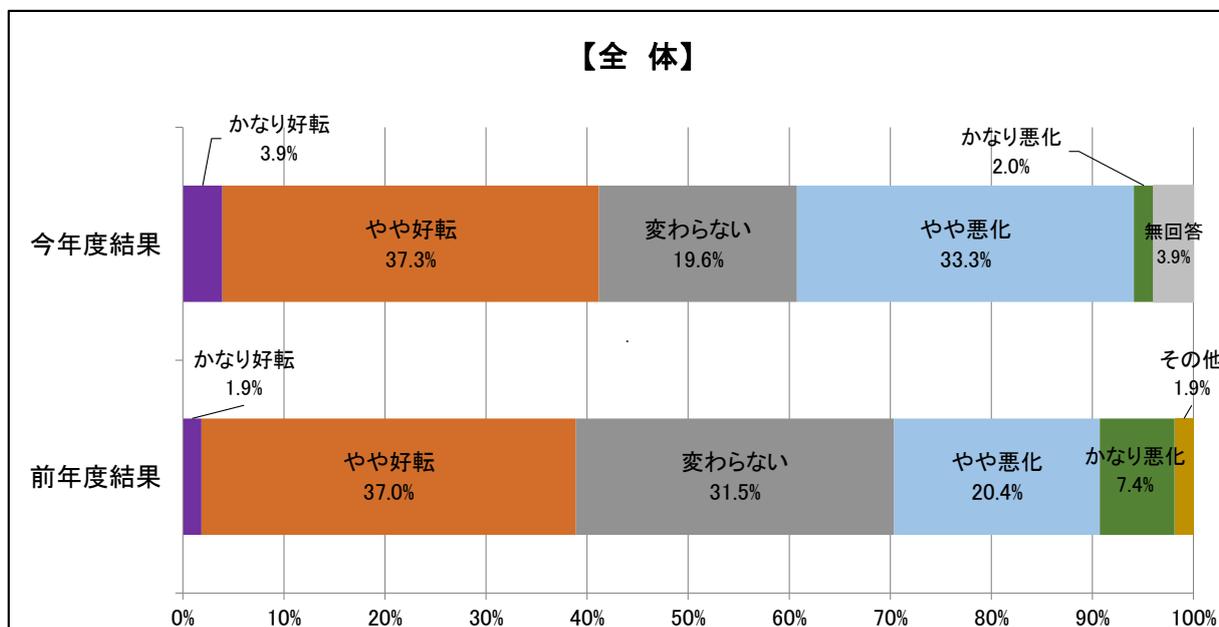
「好転」が55.6%（対前年比+47.9%）と過半数を占め、「悪化」は0.0%（対前年比-53.8%）となった。



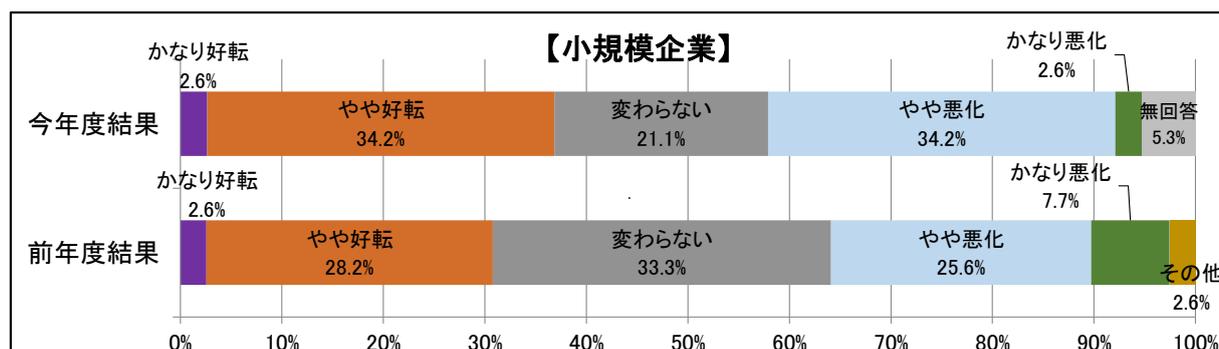
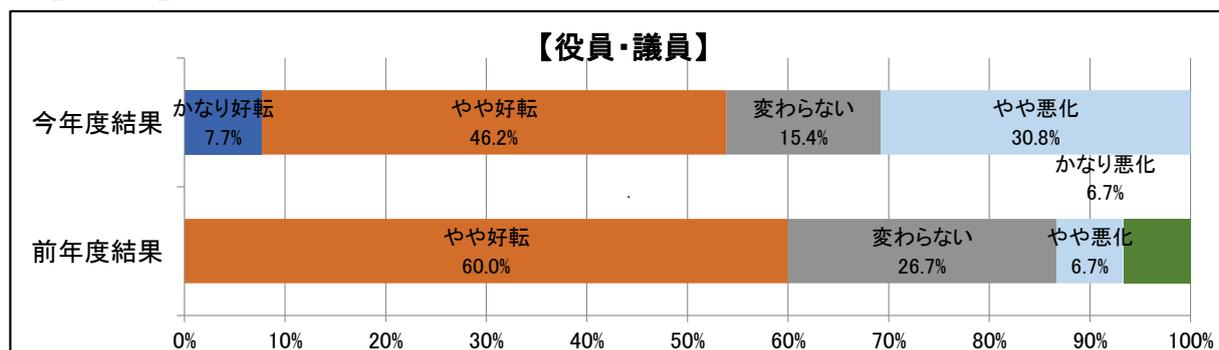
## 2022年 業況の見通し

### サービス業・不動産業

「好転」が41.2%(対前年比+2.3%)、「悪化」は35.3%(対前年比+7.5%)で、好転予測が5.9%上回った。

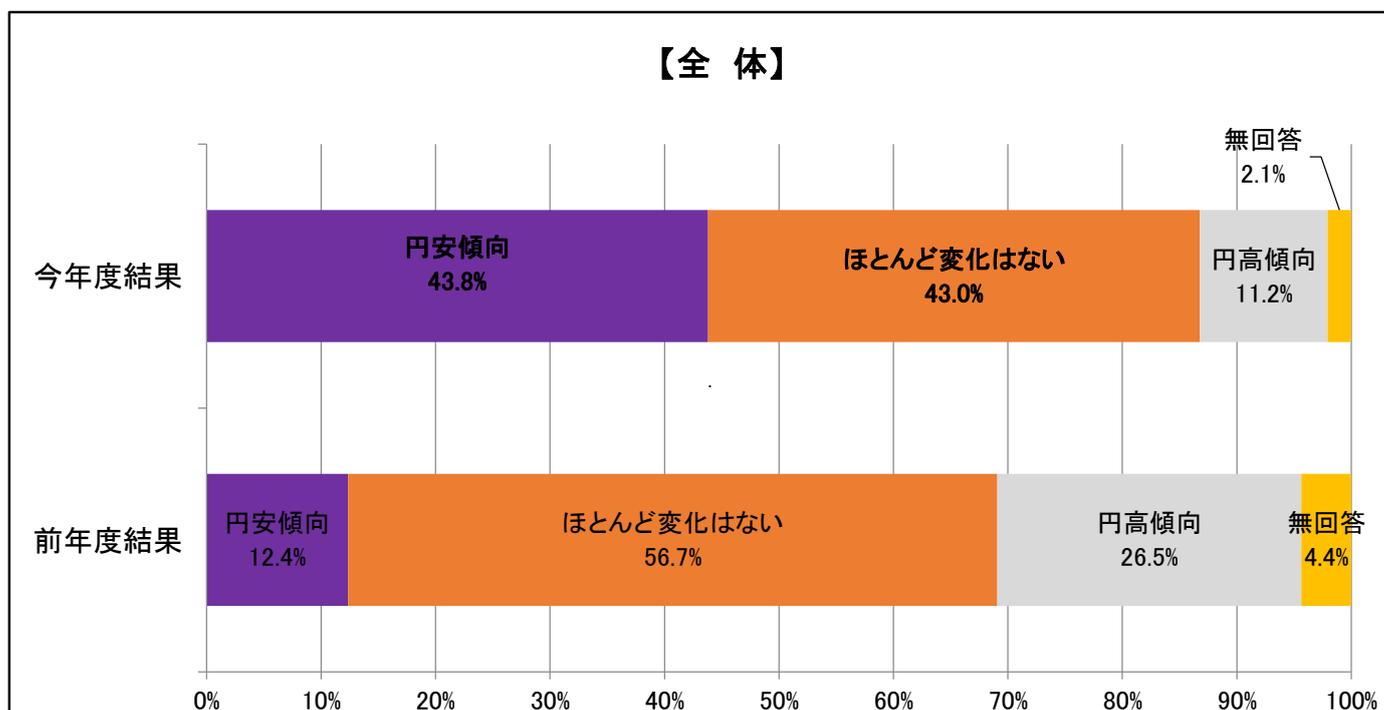


【役員・議員】は「好転」が53.9%と過半数を占めたものの、【小規模企業】では「好転」「悪化」ともに36.8%となった。

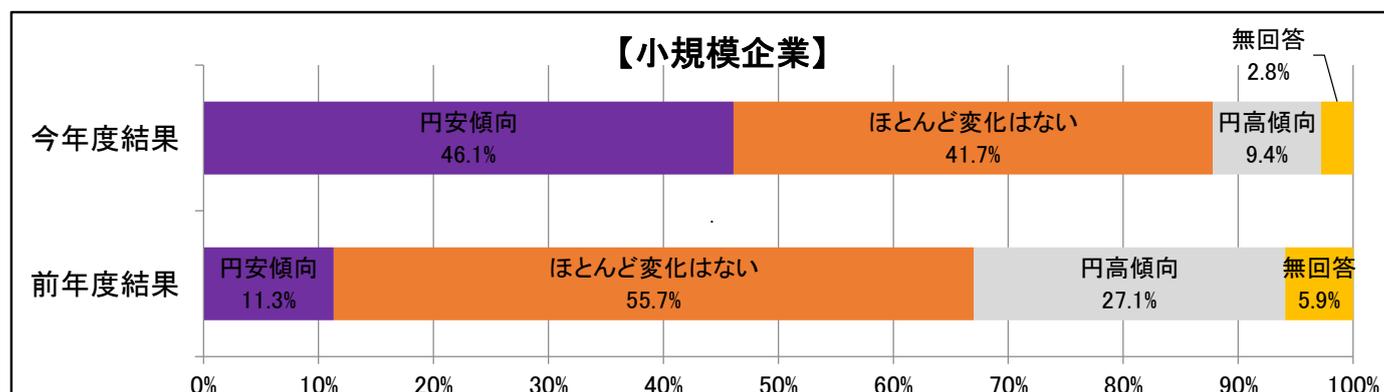
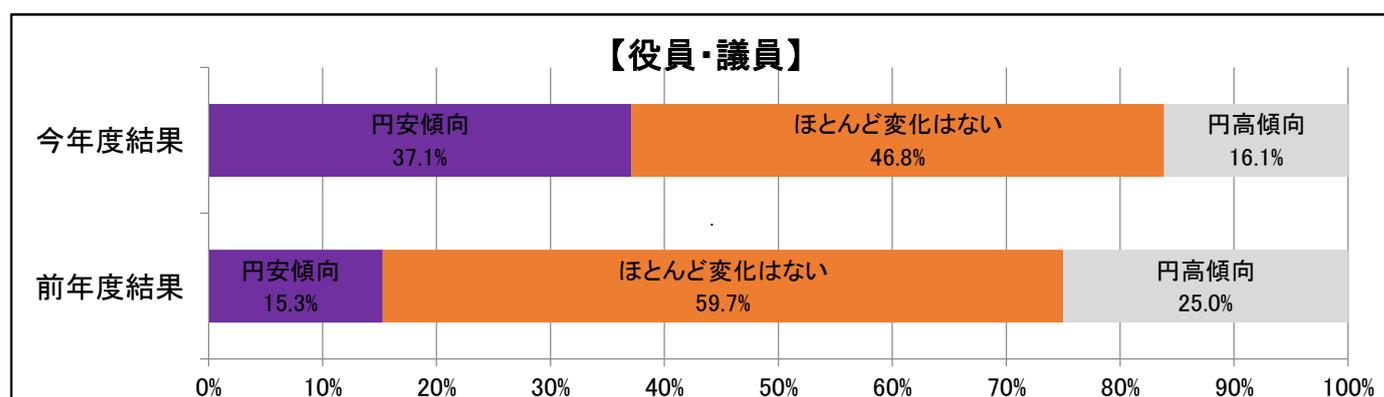


## 円市場予測

「円安傾向」が43.8%（対前年比+31.4%）、「円高傾向」は11.2%（対前年比-15.3%）で円安傾向の予測が32.6%上回った。

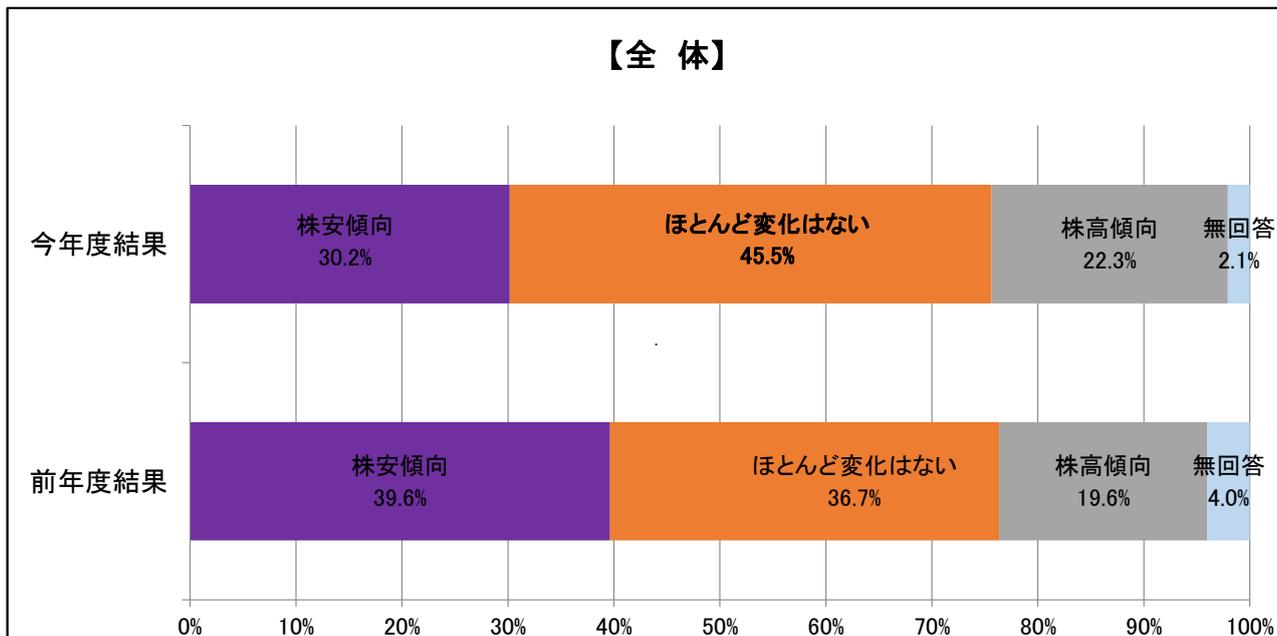


## 規模別の円市場予測



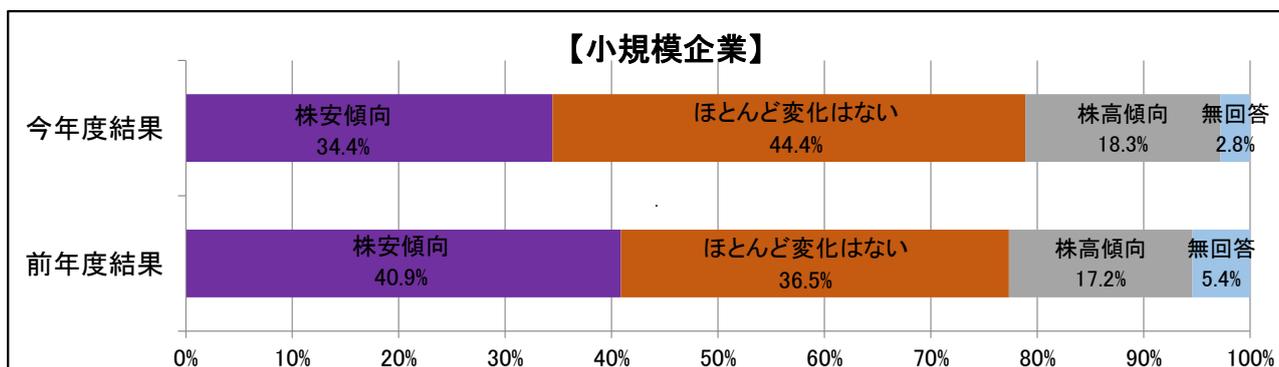
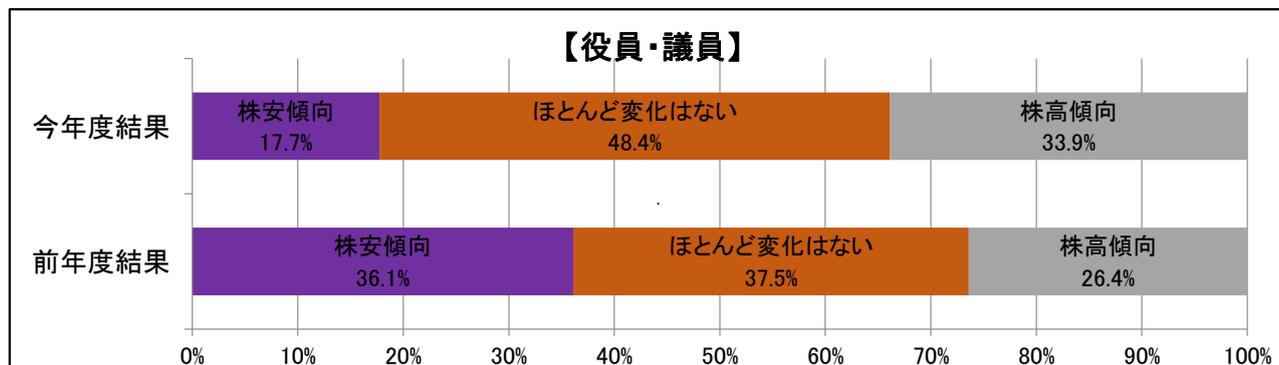
## 株式市場予測

「株安傾向」が30.2%（対前年比-9.4%）で1/3を占めているものの、「ほとんど変化はない」が45.5%（対前年比+8.8%）、「株高傾向」が22.3%（対前年比+2.7%）で2/3は高値水準が維持されると予測。



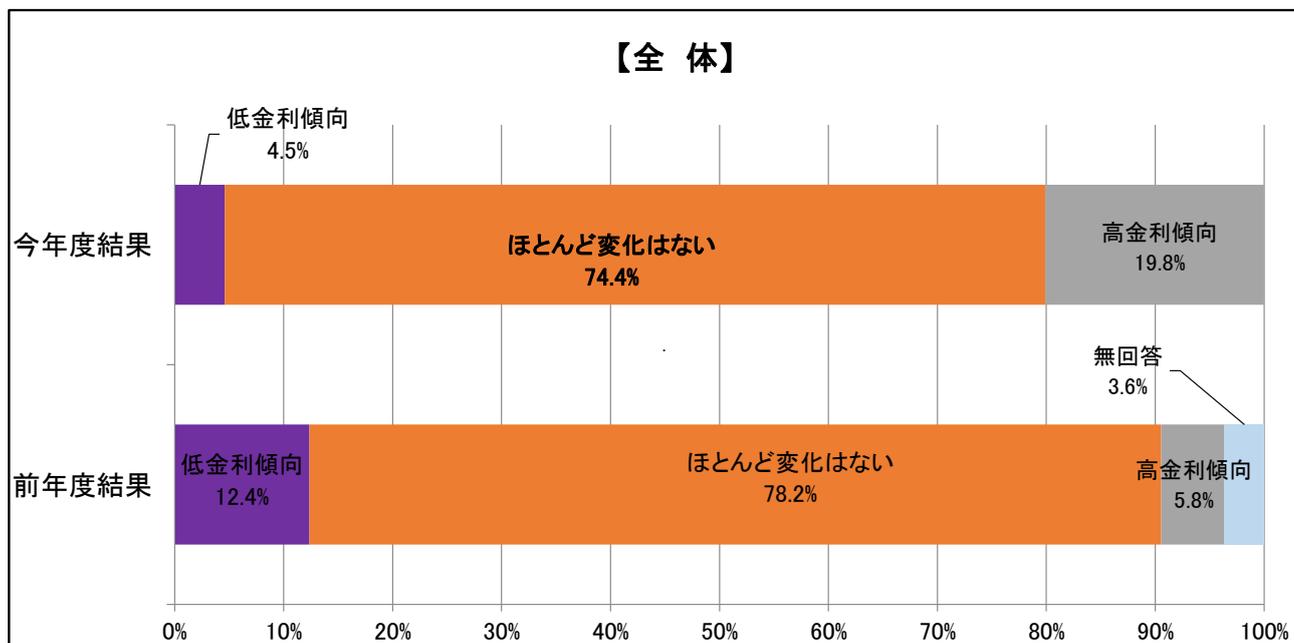
## 規模別の株式市場予測

【役員・議員】は「株高傾向」が33.9%で「株安傾向」の17.7%を上回ったものの、【小規模企業】では「株安傾向」が34.4%で「株高傾向」の18.3%を上回り、予測が分かれた。

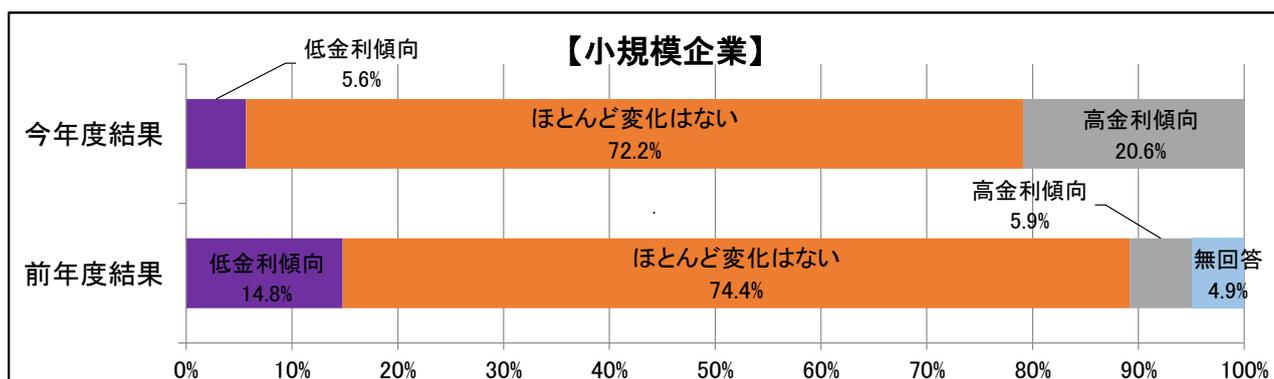
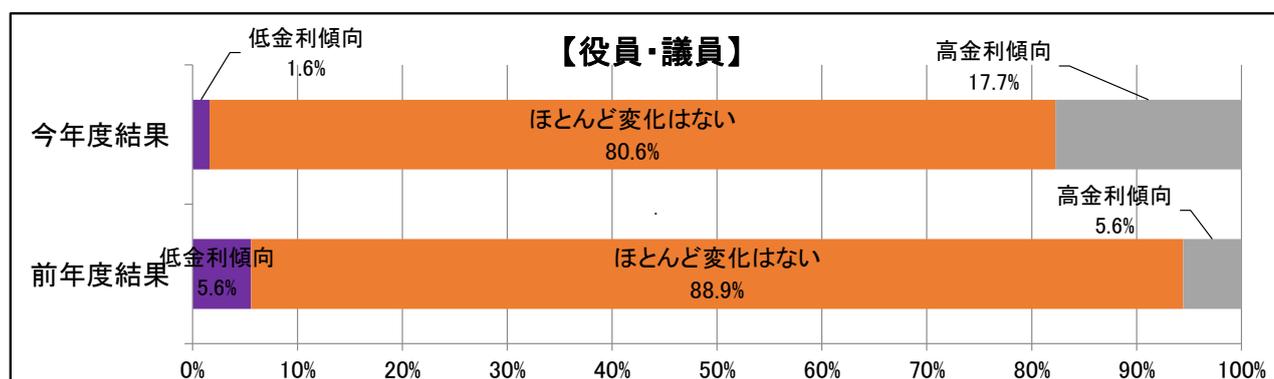


## 金利予測

7割以上が「ほとんど変化はない」と予想する一方、「高金利傾向」は19.8%（対前年比+14.0%）、「低金利傾向」は4.5%（対前年比-7.9%）で、「高金利傾向」の予測が15.3%上回った。



## 規模別の金利予測

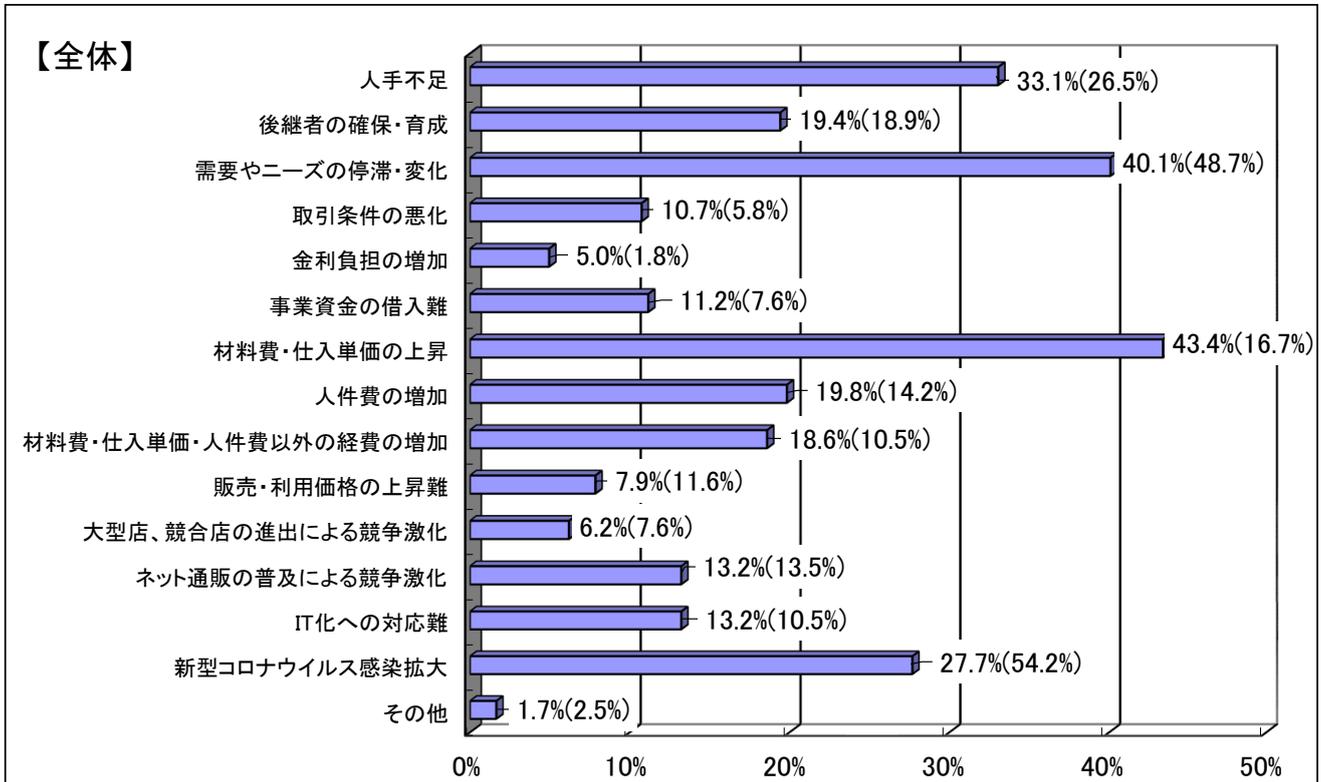


## 経営上の問題点

(複数回答)

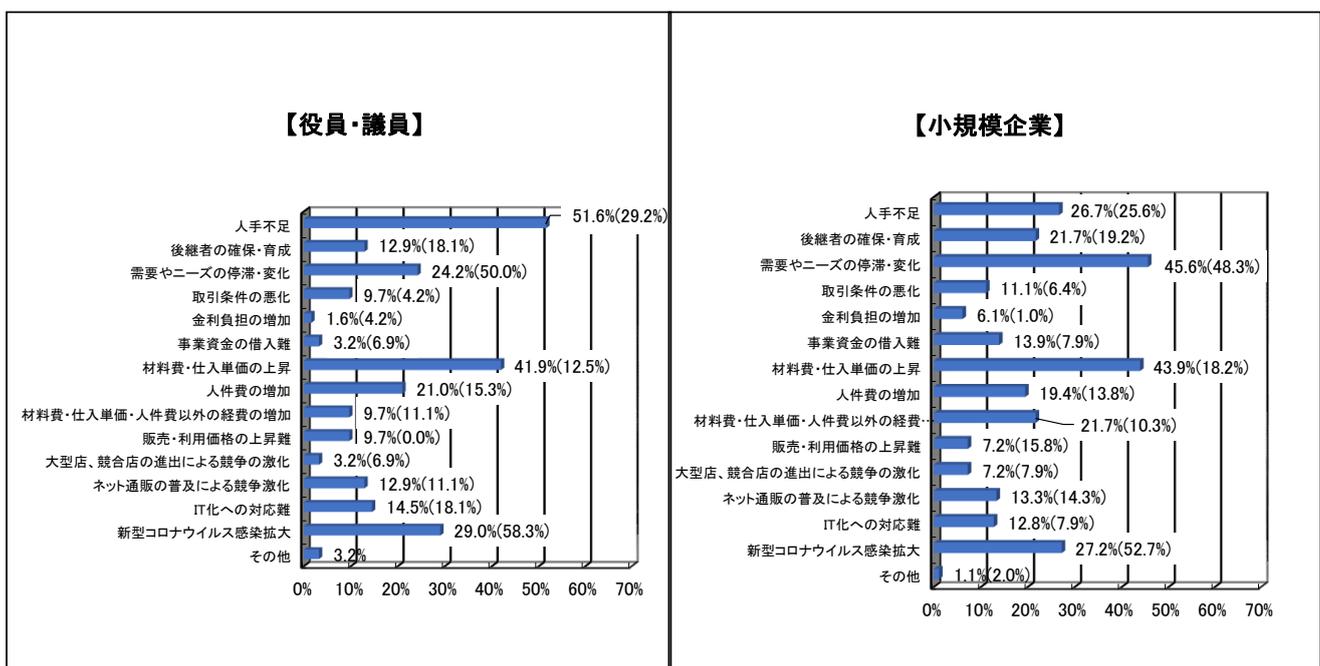
※グラフの( )内は、前年数値です。

「材料費・仕入単価の上昇」43.4%(対前年比+26.7%)、「需要やニーズの停滞・変化」40.1%(対前年比-8.6%)、「人手不足」33.1%(対前年比+6.6%)で上位となったが、経済活動の回復により、「人件費の増加」19.8%(対前年比+5.6%)、「材料費・仕入単価・人件費以外の経費の増加」18.6%(対前年比+8.1%)も増加していることから、コスト負担増が懸念される。



## 規模別の経営上の問題点

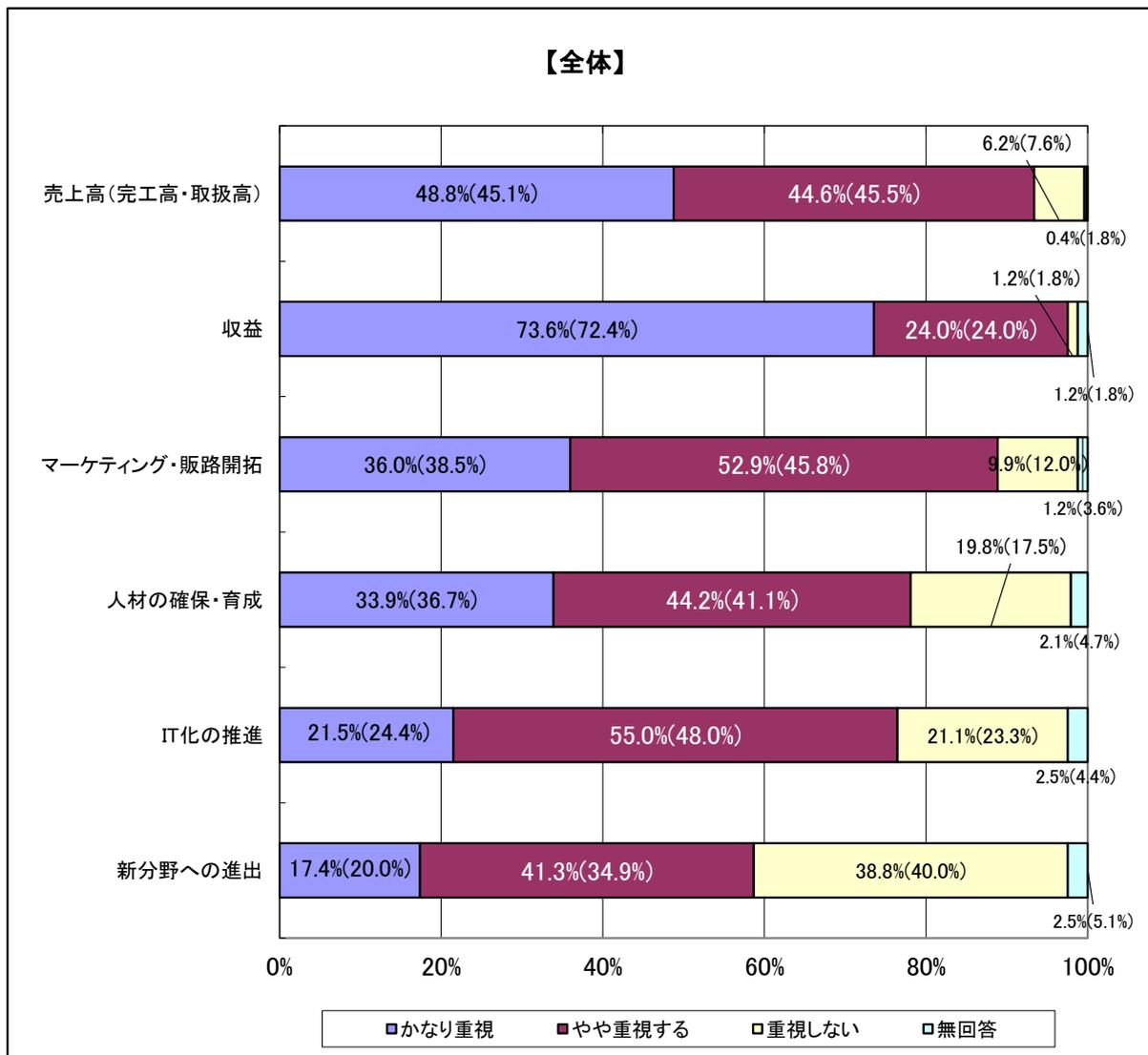
【役員・議員】は「人手不足」、【小規模企業】は「需要やニーズの停滞・変化」がトップ。



## 経営上の重視点

※グラフの( )内は、前年数値です。

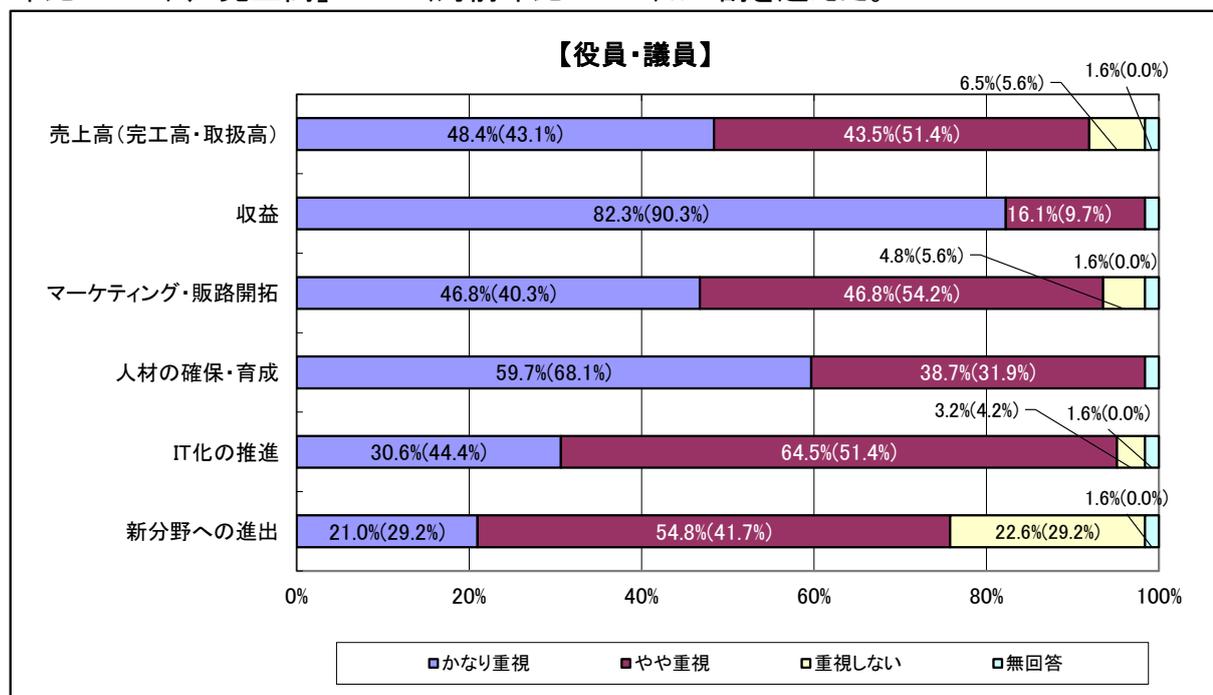
「重視する」割合が高いのは「収益」97.6%(対前年比+1.2%)、次いで「売上高」93.4%(対前年比+2.8%)、「マーケティング・販路開拓」88.9%(対前年比+4.6%)で例年と同じ順位となった。



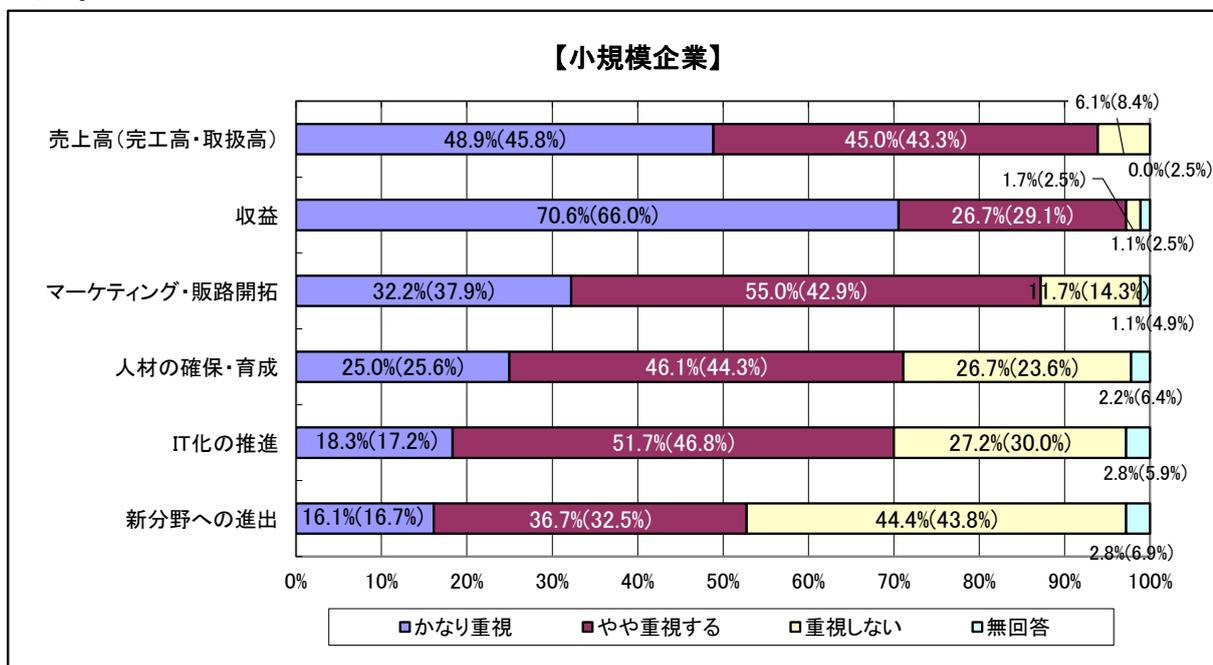
## 規模別の経営上の重視点

※グラフの( )内は、前年数値です。

【役員・議員】では、「収益」98.4%(前年比-1.6%)、「人材の確保・育成」98.4%(対前年比-1.6%)が最も高く、「IT化の推進」95.1%(対前年比-0.7%)、「マーケティング・販路開拓」93.6%(対前年比-0.9%)、「売上高」91.9%(対前年比-2.6%)が9割を超えた。



【小規模企業】では、「収益」97.3%(対前年比+2.2%)、「売上高」93.9%(対前年比+4.8%)、「マーケティング・販路開拓」87.2%(対前年比+6.4%)の重視度が高くなっているものの、「新分野への進出」が約半数の52.8%と低くなっており、規模によって経営上の重視点の違いが見えた。



## 1. 2021年の売上(見込みを含む)状況について【対2019年を100とした時の売上割合】

—昨年比87.0%となり、コロナ禍前の水準には回復していない結果となった。

### 【全体】

平均値:87.0%(最小値:2%、最大値:660%)

### 【役員・議員】

平均値:86.0%(最小値:20%、最大値:120%)

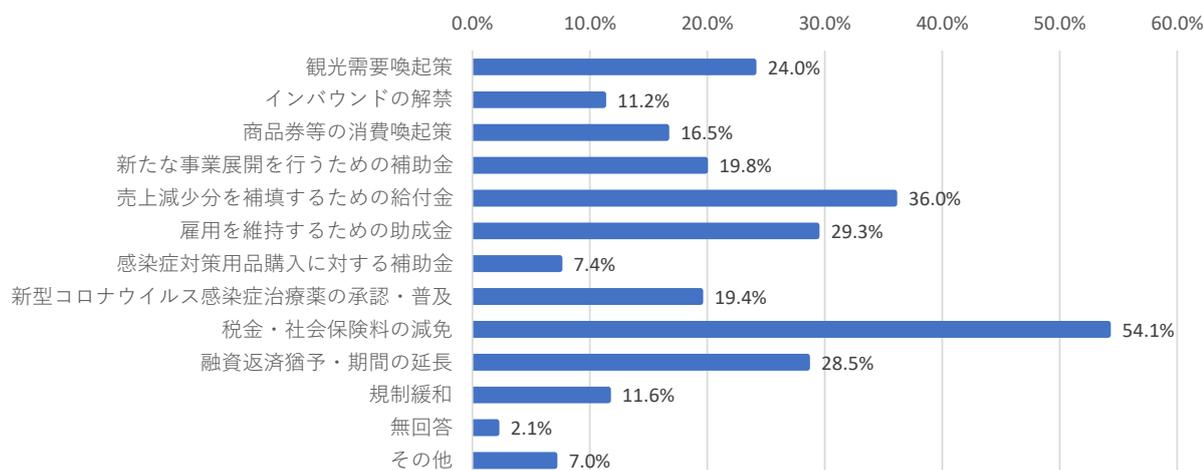
### 【小規模企業】

平均値:93.4%(最小値:2%、最大値:660%)

## 2. 新型コロナウイルス感染症関連で、今後、国等に望む施策について

「税金・社会保険料の減免」54.1%、「売上減少分を補填するための給付金」36.0%、「雇用を維持するための助成金」29.3%、「融資返済猶予・期間の延長」28.5%など資金繰り関連に集中。

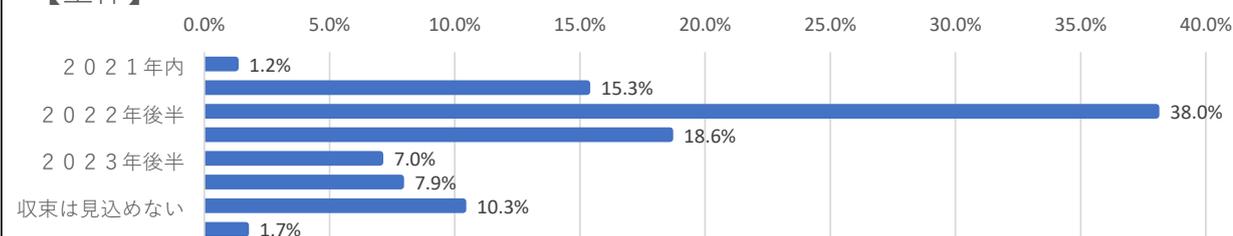
### 【全体】



## 3. 新型コロナウイルス感染症が収束するのは、いつ頃だと考えますか。

「2022年後半」が38.0%で、次いで「2023年前半」が18.6%となった。

### 【全体】





## 円市場

- Q 2** 現在（2021年11月中旬）の為替水準を基準に、2022年の円市場の見通しについて、どのように予測されますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲みください。  
※参考 東京外国為替 円(1ドル=円) (11月1日)  
【終値】 114.12

(1) 円安傾向      (2) ほとんど変化はない      (3) 円高傾向

## 株式市場

- Q 3** 2022年の株式市場の見通しについて、現在（2021年11月中旬）の株式市場の水準を基準に、どのように予測されますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲みください。  
※参考 国内株式 日経平均(円) (11月1日)  
【終値】 29,647.08

(1) 下がる      (2) 変わらない      (3) 上がる

## 金利

- Q 4** 2022年における金利の見通しについて、今年（2021年11月中旬）の金利水準を基準に、どのように予測されますか。  
該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

(1) 下がる      (2) 変わらない      (3) 上がる

## 経営の重視点

Q 5 2022年に貴社の経営上、重視される点についてお答えください。なお、本問では回答集約の都合上、選択肢を下記の6項目に限定させて頂いております。該当の□欄に○印をお付けください。

	かなり重視	やや重視	重視しない
1. 売上高（完工高、取扱高）			
2. 収益			
3. マーケティング・販路開拓			
4. 人材の確保・育成			
5. IT化の推進			
6. 新分野への進出			

## 経営の問題点

Q 6 2022年における貴社の経営上の問題点についてお答えください。該当する番号を3つ以内で、○でお囲みください。

- |                           |                      |
|---------------------------|----------------------|
| (1) 人手不足                  | (2) 後継者の確保・育成        |
| (3) 需要やニーズの停滞・変化          | (4) 取引条件の悪化          |
| (5) 金利負担の増加               | (6) 事業資金の借入難         |
| (7) 材料費・仕入単価の上昇           | (8) 人件費の増加           |
| (9) 材料費・仕入単価・人件費以外の経費の増加  | (10) 販売・利用価格の上昇難     |
| (11) 大型店、競合店の進出による競争激化    | (12) ネット通販の普及による競争激化 |
| (13) IT化（IoT・AIの活用等）への対応難 | (14) 新型コロナウイルス感染拡大   |
| (15) その他（                 | ）                    |

次ページも回答ください。

(※追加調査)

## 新型コロナウイルスの影響について

Q7-1 2019年(一昨年)の年間売上を「100」とすると、今年2021年の売上見込みはどの程度ですか。

【例：2019年の売上が1,000万円で、2021年の売上が600万円の場合、60と記入】

Q7-2 新型コロナウイルス感染症が収束するのは、いつ頃だと考えますか。該当する番号を1つだけ○でお囲みください。

- (1) 2021年内
- (2) 2022年前半
- (3) 2022年後半
- (4) 2023年前半
- (5) 2023年後半
- (6) 2024年以降
- (7) 収束は見込めない

Q7-3 新型コロナウイルス感染症関連で、今後、国等に望む施策について、該当する番号を○でお囲みください。(複数回答可)

- (1) 観光需要喚起策
- (2) インバウンドの解禁
- (3) 商品券等の消費喚起策
- (4) 新たな事業展開を行うための補助金
- (5) 売上減少分を補填するための給付金
- (6) 雇用を維持するための助成金
- (7) 感染症対策用品購入に対する補助金
- (8) 新型コロナウイルス感染症治療薬の承認・普及
- (9) 税金・社会保険料の減免
- (10) 融資返済猶予・期間の延長
- (11) 規制緩和(具体的に： )
- (12) その他( )

## コメント

新型コロナウイルス感染症関連や熊本経済の発展に向けて、必要なこと、期待すること等について、ご意見、ご提言等ございましたら、ご自由にご記入願います。

※差支えなければ、事業所名のご記入をお願い致します。

(事業所名)

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。

熊本商工会議所 商工観光振興部 商工観光振興課

TEL 096-354-6688 FAX 0120-268-343/096-352-5202